

めあて 目的に応じて引用したり要約したりしよう。

一 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

日本では、くらしの基本である「衣食住」のどれにも、「和」と「洋」が入りまじっています。「衣」には和服と洋服があり、「食」には和食と洋食があり、「住」には和室と洋室があります。「和」は、伝統的な日本の文化にもとづくもので、「洋」は、主として欧米の文化から取り入れたものを指します。「食」では、「衣食住」の中の「住」を取り上げ、日本のくらしの中で「和」と「洋」それぞれの良さなどのように生かされているか、考えてみましょう。

まず、それぞれの部屋の中ですごすときのことを考えてみましょう。わたしたちが和室ですごすとき、ざぶとんをしくかきかかないか、は別にして、たみの上に直接すわります。それに対して、洋室では、いすにこしかけてすわるのがふつうです。

和室、洋室のすこし方には、それぞれどんな良さがあるのでしょうか。和室のたみの上では、いろいろなしせいをとることができます。きちんとした場では正座をし、くつろぐときにはむざむざくずしたり、あぐらをかいしたりしてすわります。ねころぶこともできます。人と人の間かくが自由に交えられるのもたみの良さです。相手が親しければ近づいて話し、目上の人の場合には少しはなれて話すというように、自然にきよりの距離がでます。また、たみの場合には、多少人数が多くなると、間をつめればみんながすわれます。

洋室で使ういすには、いろいろな種類があります。くつろぐ、勉強をするなど、それぞれの目的に合わせてしせいがとれるように、形がくふうされています。ですから、長時間同じしせいですわっていても、つかれが少なくてすみます。

「くらしの中の和と洋」より（平成二十七年 東京書籍）

1 「和室と洋室のすこし方」について、文章を引用して自分の考えを、次のようにまとめました。①と②に入る一文を文章から書きぬきましょう。

一 和室と洋室のすこし方について

和室と洋室、それぞれの部屋ですごす方の良さについてしようかいます。

「くらしの中の和と洋」という文章によると、和室の良さについて①、②と、説明されています。つまり、しせいと間かくについて、良さを説明しています。わたしも、多くの親せきが一つの部屋に集まるときは、和室のほうがすこしやすしいと思います。

※引用する部分は、かぎ（ ）でくくりまします。

① _____

② _____

※次のページにも問題があります。

めあて 新聞のわりつけや記事の書き方を考えて書こう。

二 石田さんの学級では、「学級の出来事」を新聞にすることにしました。次の「記事の下書きの例」と「新聞のわりつけ」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【記事の下書きの例】

見出し 「新しい友達 ザリー」

1 六月十七日、四年一組に新しい友達が加わりました。

2 友達の名前はザリー。オスの真っ赤なザリガニです。大きなはさみがとてもかっこいいと大ひょうばんです。休み時間になると、ザリーの水そうの前に、クラスみんなが集まります。

3 前にクラスでかっていたカブトムシも黒くて大きな角が、かっこよくて人気者でした。

4 生き物係の田村さんは「ザリガニをかうのは初めてなので、少しきんちょうしいです。やも、みんなで大切に育てたいと思います。」と話していました。

「みんなが新聞を作ろう」より（平成二十七年 東京書籍）

【新聞のわりつけ】

| | | | | |
|--------|-------|-----------|--------|-------|
| ア | オ | ウ | イ | エ |
| 新聞コーナー | 記者の部屋 | 新しい友達 ザリー | 学級の出来事 | 図書室から |

1 【記事の下書きの例】に書かれた内容として合っているものには○、合っていないものには×を、次のアからエの（ ）にそれぞれ書きましよう。

ア（ ） 事実や取材した内容を正しく書いている。

イ（ ） 本や資料から調べたことを書いている。

ウ（ ） ザリガニの色や様子を分かりやすく書いている。

2 【記事の下書きの例】に必要なない段落があります。その段落の番号と、理由を書きましよう。

(完全解答)

3 記事を書いたあと、新聞のわりつけを右のように考えました。新聞の中で、いちばん伝えたい記事はどれですか。「新聞のわりつけ」のアからエまでの中から一つ選びましよう。
